エコアクション２１

企画から提案、板金加工、塗装、組み立て、検査までの

一貫生産がニッシンの強み

株式会社 ニッシン

環境活動レポート

活動期間（２０１１年８月～２０１２年７月）
発行：２０１２年　８月　３日

ISO 9001 JACO QC12J0005
MS JAB CM021

エコアクション21
認証・登録番号 0000626

株式会社ニッシンは、環境省が定めたエコアクション２１ガイドラインに基づき、環境への取り組みを効果的・効率的に行うシステムを構築、運用、維持し、環境への目標を持ち行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告しております。

１．目次

１．目次　・・・P2

２．会社概要

・事業所名、所在地、主要取引、事業内容、主要製品、会社沿革、etc.・・・P 3-P 5

・経営理念、品質方針、環境方針　・・・P 6

・環境管理組織と権限、環境保全関係の責任者及び担当者連絡先　・・・P 7

３．環境活動

・環境目標　・・・P 8

・環境活動計画　・・・P 9

・環境目標の実績　・・・P10

・環境活動計画の具体的な取組と結果とその評価　・・・P10

・４５期(2012 年 8 月～2013 年 7 月)からの取組　・・・P11

４．環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無　・・・P11

５．代表者による全体評価と見直しの結果　・・・P12

２．会社概要

Technique of Nisshin

会社概要

称号	株式会社ニッシン
設立	昭和44年5月1日
所在地	埼玉県飯能市落合500-1 TEL 042-974-1161(代) / FAX 042-974-1705
資本金	1,000万円　　売上　610,237 万円
代表者氏名	手塚　文紀
敷地面積	3,100㎡(833坪)
建物面積	1,800㎡(327坪)
社員数	48名(パート、研修生含む)
URL	http://www.nisshin-corp.com/
E-mail	s-ishii@nisshin-corp.com ogawa@nisshin-corp.com
お問合せ先	営業部　石井、小川
取引銀行	飯能信用金庫　黒須支店 日本政策金融公庫　さいたま支店 青梅信用金庫　飯能支店
グループ企業	株式会社エスイー 〒350-1327 埼玉県狭山市笹井3015 TEL 04-2953-2118 / FAX 04-2952-0025 http://www.esuii.com/

事業内容

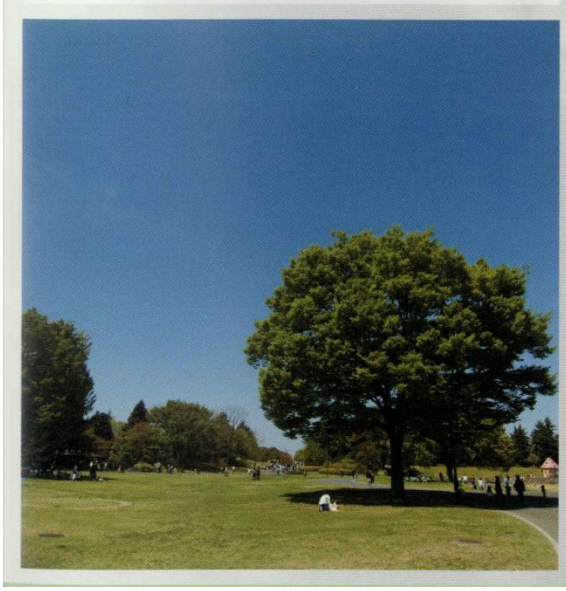
機械設計、プログラム、精密板金加工、塗装、電装組立

主要製品

電気機器筐体及び部品、ＯＡ機器、医療機器、ダストボックス等

主要取引先

■株式会社リコー　■リコーマイクロエレクトロニクス株式会社
■株式会社モリタ東京製作所　■株式会社平山製作所　■株式会社明光商会
■明光フィールドサービス株式会社　■三菱電機ビルテクノサービス株式会社
■新神戸電機株式会社　■ニスカ株式会社　■日本セイフティー株式会社
■日昭電器株式会社　■ダイヤオフィスシステム株式会社　■株式会社東邦製作所
■ヨシトヨ工業株式会社　■株式会社ニットー冷熱製作所　■宝永電機株式会社
■株式会社イワキ　他数十社　(順不同)



会社沿革

昭和44年5月	東京都新宿区に資本金200万円にて設立
昭和45年2月	埼玉県飯能市に本社工場移転
昭和54年6月	資本金800万円に増資
昭和54年7月	業務拡張の為、板金組付工場増設
昭和54年11月	業務拡張の為、塗装工場増設
昭和55年2月	塗装工場に新ライン設備導入
昭和59年5月	NCT(PEGA)導入
昭和60年11月	レーザーマシン(LC2-644)導入
昭和61年1月	レーザーマシン(LC2-644-Ⅱ)に入れ替え
平成3年6月	塗装前処理装置、排水処理装置設置及び塗装ライン全面改良
平成7年11月	資本金1000万円に増資
平成8年4月	医療用機器製造業許可認証取得(埼玉県)
平成8年5月	医療用機器のOEM生産開始
平成9年8月	渋谷光博　代表取締役社長就任
平成12年2月	NCT(ビプロスZ358NT)及びサイクルローダー導入
平成12年10月	粉体塗装設備導入
平成16年5月	複合機(アペリオⅢ)及びマニプレーター導入
平成17年8月	前処理設備改良更新
平成17年11月	埼玉県知事から経営革新計画(平成17年8月～平成22年7月)の承認を受ける
平成18年3月	環境マネジメントシステム"エコアクション21"認証取得 CNCタレットパンチプレス(EM2510NT)導入
平成20年8月	渋谷光博　代表取締役会長就任 手塚文紀　代表取締役社長就任
平成21年8月	化学物質管理システム"リコーCMS"認証取得
平成24年3月	高精度ベンディングマシン(HDS-1303NT)導入
平成24年5月	品質管理システムISO9001：2008認証取得

板金加工と塗装業者が別の場合、製品の移動"横もち"が発生したり、製品に関わる業者が多くなる程、

管理費が増えたり、リードタイムが長くなったり、品質に対する責任の 所在があいまいになりがち。

一貫生産が可能なニッシンであれば、責任を持って、板金塗装の品質を保証し、

お客様のご要望に見合った価格・納期をご提案致します。

ニッシンの主要設備

- CAD、CAM
- シャーリング
- パンチング、レーザー加工機
- タッピングマシン
- プレス
- ベンディングマシン
- 溶接機
- 塗装

…その他

当社の保有するコア技術

(○自社保有技術▲協力工場保有技術)

機械設計・プログラム	○	化学研磨	▲	機械的カシメ	○
プラスチック成型	▲	打抜プレス	○	メッキ	▲
金型	▲	曲げプレス	○	塗装	○
切削加工	▲	絞りプレス	▲	シルク	▲
レーザー加工	○	板金加工	○	熱処理	▲
放電加工	▲	スポット溶接	○	機械組立	○
ワイヤーカット	▲	アルゴン溶接	○	電装組立	○
エッチング	▲	CO2ガス溶接	○	検査	○

ニッシンの製品

当社は昭和44年創業以来、板金加工、塗装、組立の一貫生産を通して
常にお客様に満足して頂ける商品とサービスを提供し、社会に貢献する事を考えた"ものづくり"をおこなってまいりました。
この間に構築された当社の技術、サービスを、時代の変化と共に更に進化させて、今後もお客様に満足して頂ける、感動して頂ける、
そして人や地球にやさしい"ものづくり"を目指して全社員一丸となって頑張ってまいります。

滅菌器の筐体も制作しております。写真の筐体は、高さ1400×幅1000×奥行600です。塗装後、検査、梱包し出荷します。
この他にも様々な業種、形状、寸法の製品、部品を製造しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。
また、工場見学も大歓迎です。

産業用機器のカバーの一部(仕掛部品)

この後、脱脂⇒前処理⇒塗装⇒検査⇒梱包の順に作業が進みます。

医療用殺菌キャビネット

板金加工、塗装、組立、完成まですべてニッシンで行う事が出来ます。
(医療用機器製造業許可認証取得済み)

製品のコーナー部の拡大写真

丸みのあるコーナーをこのようにきれいに仕上げ、美しい塗装を施すことが出来ます。

課金機

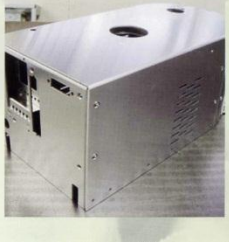
この製品はニッシンで筐体の制作から組立、動作確認検査、梱包、出荷までを一貫して行っております。

産業用機器のカバーの一部

R部もきれいに仕上げます。

産業用機器筐体

塗装がない品物(アルミ、ステンレス等)も扱っております。



歯科医療用機器

特殊な形状でもきれいに仕上げます。

アクセス

〒357-0047　埼玉県飯能市落合500-1

■ 電車でお越しの場合
西武池袋線　飯能駅南口より車で5分
(ご連絡を頂ければお迎えにあがります)

■ お車でお越しの場合
圏央道　狭山日高ＩＣより約20分
青梅ＩＣより約15分

経営理念

お客様の要望には最大限の力で応え、無駄を徹底排除した高効率体質を構築し、社会に貢献する経営を行う。

品質方針

「品質によってお客様の満足を得、品質によって社会に貢献する」を念頭に国際標準に配慮し、お客様により良い製品とサービスを提供する。
その為に下記１）～３）に重点を置き継続的改善を実施する。

１）お客様要求事項を満たし、加工技術の向上を図り、お客様に満足される製品を生産し、提供する。

２）品質マネジメントシステムを構築し、継続的にマネジメントシステム、プロセスの改善を行う。

３）お客様のクレームは迅速に対応し、是正、予防処置を見直し、再発防止に努める。

環境方針

当社の環境マネジメントシステムの継続的な推進と改善は、板金加工、塗装、組立業務を通じて次に示す活動を優先事業活動の１つとして行います。

１．関連法規、法令、規則、条例、協定及びその他合意事項を遵守する。

２．二酸化炭素削減・廃棄物の削減・上水の削減・グリーン購入の推進に対して目的・目標を定め、継続的改善を実施する事により環境マネジメントシステムの向上を図る。

３．分別の徹底、リサイクル品の積極的な採用により資源リサイクルの推進を図る。

４．含有禁止物質及び有機溶剤の管理を徹底する。

５．環境マネジメント活動に、“品質管理”と“５Ｓ活動”をリンクさせながら本システムの効率的改善を図る。

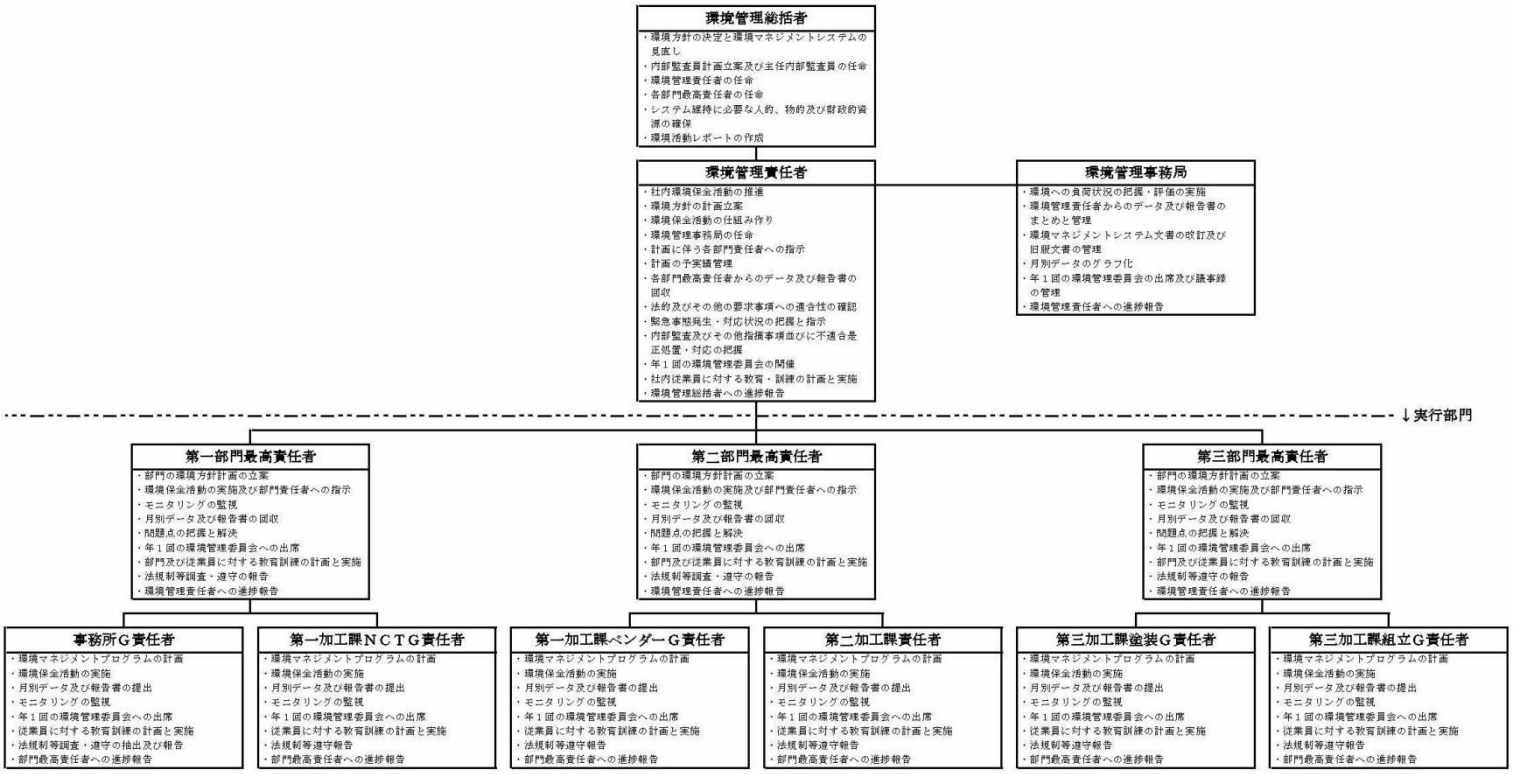
６．社員一人ひとりがこの方針を理解し、スキルアップに努め、環境管理のスペシャリストになる。

２０１２年　８月　１日

代表取締役　手塚文紀

環境管理組織と権限

株式会社ニッシン環境管理組織機能図



※　各部門責任者は１年毎に担当者が変わります。

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者（環境管理責任者）：安達　知明

E-mail：adachi@nisshin-corp.com

担当者（環境管理事務局）：梅澤　重隆

E-mail：umezawa@nisshin-corp.com

電話番号：042-974-1161

FAX 番号：042-974-1705

３．環境活動

環境目標

４２期を基準とし４３期、４４期、４５期の３年間中長期目標は次の通り。
※　上水については備考欄を参考。

NO.	環境負荷項目		単位	42期基準	43期計画	44期計画	45期計画	備　考
1	投入資源	ｺﾋﾟｰ用紙	枚	138,935	目標1%減 137,545	目標3%減 134,766	目標5%減 131,988	
2	ビスびサー製品及	使用禁止物質	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	客先要求事項に対する実績数値
3	投入資源 水	上水	m^3	－	基準期 1,518	目標1%減 1,502	目標2%減 1,487	上水は新規設備導入により43期（1,518㎥）基準から3%減の活動
4	二酸化炭素	電力 (Co^2)	Co^2 (kwh)	136,328 (360,655) CO^2排出係数 0.378	目標1%減 134,964 (357,048)	目標3%減 132,238 (349,835)	目標5%減 129,511 (342,622)	Co2削減の為のテーマ
5	廃棄物排出	一般廃棄物	kg	840	目標1%減 831	目標3%減 815	目標5%減 798	
6		金属くず (ｽｸﾗｯﾌﾟ)	kg	102,778	目標1%減 101,750	目標3%減 99,694	目標5%減 97,639	
7		金属くず (異常発生品)	kg	9,010	目標1%減 8,920	目標3%減 8,740	目標5%減 8,560	
8	グリーン購入	事務用品	%		購入率把握実施	購入率10%	購入率15%	購入率の把握として43期より実施

※１：上記の表は42期（2009/8～2010/7）43期（2010/8～2011/7）44期（2011/8～2012/7）
45期（2012/8～2013/7）
※２：有機溶剤、非定常時・緊急時については管理項目として掲げる。

〖全社テーマ〗

電力消費量(Co2)の削減　・・・４２期を基準、４５期末までに５％減
一般廃棄物の削減　・・・４２期を基準、４５期末までに５％減
上水の削減　・・・４３期を基準、４６期末までに３％減
使用禁止物質の管理　・・・客先要求事項による徹底管理。
有機溶剤の管理　・・・要求事項による徹底管理。
グリーン購入の推進　・・・４３期を基準、４６期末までに購入率２０％達成

〖部門テーマ〗

１．事務所Ｇ
電力消費量(Co2)の削減　・・・４２期を基準、４５期末までに５％減
２．第一加工課ＮＣＴＧ
スクラップの削減　・・・４２期を基準、４５期末までに５％減
３．第一加工課ベンダーＧ（第一加工課ＮＣＴＧ、第三加工課組立Ｇ）
異常発生品スクラップの削減　・・・４２期を基準、４５期末までに５％減
４．第二加工課
溶接異常発生品の削減　・・・４２期を基準、４５期末までに５％減
５．第三加工課塗装Ｇ
再塗装異常発生品の削減　・・・４２期を基準、４５期末までに５％減
６．第三加工課組立Ｇ
再塗装異常発生品の削減(ｺﾞﾐ)　・・・４２期を基準、４５期末までに５％減

全社環境活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目標値 計画			担当部門／責任者	手順書
1	電力消費量(Co2)の削減	42期基準45期末5%減	1．照明器具等の見直しと試行と実施 2．現状把握をしての蛍光灯の撤去 3．現状把握をしての蛍光灯の撤去	43期末1%	44期末3%	45期末5%	全部門	電力削減手順書
2	一般廃棄物の削減	42期基準45期末5%減	1．廃コピー用紙の再利用の徹底 2．購入品等の廃棄物の再利用化 3．廃棄物運搬頻度の削減	43期末1%	44期末3%	45期末5%	全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	43期基準46期末3%減	1．水道、蛇口、トイレの節水 2．使用メモリ対策の推進 3．使用メモリ対策の推進	44期末1%	45期末2%	46期末3%	全部門	上水削減手順書
4	使用禁止物質の削減・管理 (製品及びサービス)	客先要求事項による徹底管理	1．レベル１含有成分即時納入禁止 2．レベル１，２含有成分即時納入禁止 3．レベル１，２含有成分即時納入禁止	43期末	44期末	45期末	全部門	使用禁止物質削減・管理手順書
5	ｺﾋﾟｰ用紙使用頻度の削減	42期基準45期末5%減	1．コピー用紙の使用頻度の削減 2．不要コピーの見直しと試行と実施 3．不要コピーの見直しと試行と実施	43期末1%	44期末3%	45期末5%	事務所G	省資源手順書（コピー用紙）
6	ｽｸﾗｯﾌﾟの削減	42期基準45期末5%減	1．材料の現状把握 2．ﾈｽﾃｨﾝｸﾞの見直し 3．端材の徹底管理	43期末1%	44期末3%	45期末5%	第一加工課ＮＣＴＧ	ｽｸﾗｯﾌﾟ削減手順書
7	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟの削減	42期基準45期末5%減	1．異常発生品の低減化 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	43期末1%	44期末3%	45期末5%	第一加工課ベンダーG（NCTG）（組立G）	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟ削減手順書
8	溶接異常発生品の削減	42期基準45期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	43期末1%	44期末3%	45期末5%	第二加工課	溶接異常発生品削減手順書
9	再塗装異常発生品の削減	42期基準45期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	43期末1%	44期末3%	45期末5%	第三加工課塗装G	再塗装異常発生品削減手順書
10	再塗装異常発生品の削減(ゴミ)	42期基準45期末5%減	1．異常発生品防止策の実施 2．掃除エリアの拡大及び定期掃除の実施 3．掃除エリアの拡大及び定期掃除の実施	43期末1%	44期末3%	45期末5%	第三加工課組立G	再塗装異常発生品（ゴミ）削減手順書
11	グリーン購入の推進	43期基準46期末20%達成	1．事務用品の現状把握 2．グリーン購入の選定と購入の推進 3．グリーン購入の選定と購入の推進	44期末10%	45期末15%	46期末20%	全部門	グリーン調達手順書

実施試行、　維持

※１：42期（2009年 8月～2010年 7月）、43期（2010年 8月～2011年 7月）、44期（2011年 8月～2012年 7月）
45期（2012年 8月～2013年 7月）、46期（2013年 8月～2014年 7月）を示す。

上記計画書を基に以下の通り取組を行う。

電力(Co2)の削減　：電力メーターの設置により、基準デマンド管理で電力使用量を低減させ、又、使用していない照明器具等の撤去等を行う。

一般廃棄物の削減　：雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。

上水の削減　：各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。

使用禁止物質の削減　：客先要求事項により使用禁止物質使用をしない。

コピー用紙の削減　：余分なコピーをしないでペーパーレスへの強化を行う。

金属くず(スクラップ)：端材在庫の徹底管理、歩留率アップを行う。

金属くず(異常発生品)：異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。又、溶接、再塗装の異常発生品防止の強化を行い、再塗装の異常発生品に関しては、ゴミ付着率の低減を強化する。

グリーン購入の推進　：事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。

※　有機溶剤は管理項目として掲げる。

環境目標の実績

４２期を基準とし、４３期、４４期の実績は次の通りである。

NO.	売上/環境負荷項目		Ｉ：投入 Ｏ：排出	単位	４３期	４４期	４５期	備　考
1	売上		－	%	21.1%増	36.25%		前期との売上比率
2	投入資源	ｺﾋﾟｰ用紙	I	枚	110,103 41.9%減	164,909 17.6%減	－	
3	ビスサー及び製品	使用禁止物質	I	%	0% 要求達成	0% 要求達成	－	
4	投入資源	水 上水	I	m^3	基準期 1,941	2,354 -15%減	－	43期を基準値として実施
5	炭素酸化	二 電力 (Co^2)	I	Co^2 (kwh)	172,475 (456,282) 5.4%増	521,793 (195,672) 8.4%増	－	Co2削減の為
6	廃棄物排出	一般廃棄物	O	kg	900 14%減	840 36.3%減	－	
7		金属くず (ｽｸﾗｯﾌﾟ)	O	kg	138,186 13.4%増	191,810 50.4%増	－	
8		金属くず (異常発生品)	O	kg	3,550 81.7%減	2,790 105.3%減	－	
9	購入リーング	事務用品	I	個	12 購入率 把握実施	14 16.7%達成	－	購入率の把握として43期より実施

※上記の表は42期（2009/8～2010/7）43期（2010/8～2011/7）44期（2011/8～2012/7）
45期（2012/8～2013/7）

※目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。

環境活動計画の具体的な取組と結果とその評価

４３期、４４期の具体的な取組と結果とその評価については以下の通りである。

環境目標	取組項目	単位	結果(基準期との比較)				44期評価と45期からの取組内容		
			基準期 (42期)	43期	44期	45期	評価	評価に対する コメント	継続有無 取組内容
売上	—	%	—	21.1%	36.3%		—	—	—
ｺﾋﾟｰ使用頻度枚数を42期を基準として45期末までに5%削減する。	◎客先からのFAXを出来る限りメール受信にする ◎必要以上のコピーは行わない ◎コピーの間違え等の徹底管理	枚	138,936	110,103	164,909		○	43期と比較すると使用的には多いが基準期42期と比べると-17.6%で目標達成。ｺﾋﾟｰの使用率が限界になっている為、45期よりﾃｰﾏを変える事とする。	継続無 45期よりテーマより外す
			基準期との比較（売上率との計算）						
				-41.9%	-17.6%				
客先要求事項に対し使用禁止物質の管理の徹底を行う。	◎客先要求事項の把握 ◎使用禁止物質の管理 ◎代替え品等の把握と対応	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%		○	客先要求事項に対し迅速に把握し、含有禁止物質に対する調査、管理等を徹底し、かつ客先からのクレームも無い事から目標達成致しました。	継続有 同等管理で継続
			基準期との比較						
				客先ｸﾚｰﾑ無	客先ｸﾚｰﾑ無				
上水の使用量を43期を基準として46期末までに3%削減する。	◎各部門こまめな節水 ◎第三加工課塗装Ｇの前処理に対する吊り掛け方法の改善（生産効率による節水）	m^3	—	1,941	2,354		○	44期の売上に対し-15%を目標よりも大幅に達成が出来た。引き続きより効果的な活動を行い削減して頂きたい。	継続有 同等管理で継続
			基準期との比較（売上率との計算）						
					-15.0%				
電力消費量(CO_2)を42期を基準として45期末までに5%削減する。	◎デマンド245kwhの管理 ◎各部門空調機関係のこまめな節電 ◎各部門業務に支障が無い程度の蛍光灯の撤去	kwh (kg)	360,655 (136,328)	456,282 (172,475)	521,793 (195,672)		×	42期に対し売上率36.3%増で傾向としては受注が大幅に増加した事により夜間の電力使用が増え8.4%増となった。	継続有 同等管理で継続
			基準期との比較（売上率との計算）						
				5.4%	8.4%				
一般廃棄物排出量を42期を基準として45期末までに5%削減する。	◎各部門ｺﾋﾟｰ用紙、段ﾎﾞｰﾙ等ﾘｻｲｸﾙへ循環させる ◎不要な用紙等緩衝剤利用を行う ◎家庭のゴミ等は持ち込まない	kg	840	900	840		○	42期に比べて44期は売上が36.3%増に対し-36.3%と大幅に削減が出来た。ﾘｻｲｸﾙへの積極的な対応による事から引き続き活動する。	継続有 同等管理で継続
			基準期との比較（売上率との計算）						
				-14%	-36.3%				
ｽｸﾗｯﾌﾟの排出量を42期を基準として45期末までに5%削減する。	◎NCﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの歩留り率を80%以上に設定する。 ◎余分な加工は行わない。 ◎端材に対し、使用出来る部分をｼｬｰﾘﾝｸﾞでｶｯﾄし管理する	kg	102,778	138,186	191,810		×	42期と比較すると50.4%と排出的にかなり多い為未達成。材料費が上がってきているので45期からは出来るだけ歩留り率を上げる。	継続有 同等管理で継続
			基準期との比較（売上率との計算）						
				13.4%	50.4%				
異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟの排出量を42期を基準として45期末までに5%削減する。	◎各ｸﾞﾙｰﾌﾟで発生した異常発生品についての再発防止の実施 ◎品質管理と5S活動をﾘﾝｸさせｽｷﾙ向上の実施	kg	9,010	3,550	2,790		○	42期と比較すると-105.3%の削減が出来た。ISO9001を取得し、システムを有効活用し削減に取組んだ結果としては達成している。	継続有 同等管理で継続
			基準期との比較						
				-81.7%	-105.3%				
文房具等のﾘｻｲｸﾙ材使用製品を43期を基準とし、46期末までに20%達成にする。	◎文房具等のﾘｻｲｸﾙ材使用品の現状把握 ◎ﾘｻｲｸﾙ材使用品の選定と購入個数の限定設定	個	—	12	14		○	43期基準より16.7%達成出来た。引き続きﾘｻｲｸﾙ品の選定と購入を行う。	継続有 同等管理で継続
			基準期との比較						
					16.7%				

※上記の表は42期（2009/8～2010/7）43期（2010/8～2011/7）44期（2011/8～2012/7）
45期（2012/8～2013/7）46期（2013/8～2014/7）

４５期(２０１２年８月～２０１３年７月)からの取組

電力(Co2)の削減　　：電力メーターの基準デマンド管理で電力使用量を低減させ、使用ピークの把握と各部門節電の実施

一般廃棄物の削減　　：雑誌、紙類のリサイクル強化とビニール類の再利用。

上水の削減　　：各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。

使用禁止物質の削減　：客先要求事項により使用禁止物質使用をしない。

金属くず(スクラップ)：端材在庫の徹底管理、歩留率アップを行う。

金属くず(異常発生品)：異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。又、溶接、再塗装の異常発生品防止の強化を行い、再塗装の異常発生品に関しては、ゴミ付着率の低減を強化する。

グリーン購入の推進　：事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。

※　有機溶剤は管理項目として掲げる。

４．環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規項目			遵守結果
法規制違反の有無	公害に関する法律	下水道法	2013年3月現在無し
		騒音規制法	2013年3月現在無し
		振動規制法	2013年3月現在無し
		悪臭防止法	2013年3月現在無し
	廃棄物・リサイクルに関する法律	循環型社会形成推進基本法	2013年3月現在無し
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	2013年3月現在無し
		再生資源の利用の促進に関する法律	2013年3月現在無し
		使用済自動車の再資源化等に関する法律	2013年3月現在無し
	化学物質に関する法律	毒物及び劇物取締法	2013年3月現在無し
		消防法	2013年3月現在無し
		高圧ガス保安法	2013年3月現在無し
	その他の法律	労働安全衛生法	2013年3月現在無し
		粉塵障害防止規則	2013年3月現在無し
	条例	埼玉県環境保全条例	2013年3月現在無し
		飯能市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	2013年3月現在無し
		飯能市下水道条例	2013年3月現在無し
訴訟の有無	環境関連訴訟		2013年3月現在無し

５．代表者による全体評価と見直しの結果

経営者による評価及び見直し結果報告書

見直し案	見直し案作成日	２０１２年　７月２７日（金）	作成者	安達　知明
	見直し対象期間	２０１１年　８月　１日　～　２０１２年　６月２９日		
	見直し実施時期	２０１２年　７月１３日　（定期，　臨時　）		
	出　　席　　者	手塚文紀、安達知明、梅澤重隆		
	提　出　資　料	・エコアクション２１－２００９年版 ・環境方針（２０１１年　８月　１日制定） ・環境目的・目標（２０１１年　８月　１日制定）様式第５－１号、第５－２号 ・環境実施計画書の実施状況（２０１１年　８月～２０１２年　７月分実績評価済）様式第６－１号、第６－２号 ・環境管理委員会（２０１２年　７月２７日開催）様式第　　７号 ・環境目標の実績集計と達成度算出（２０１１年　８月～２０１２年　７月分）		

総括者（代表者）の評価と指示	見直し評価日	２０１１年　７月　５日（月）	総括者	手塚　文紀

見直し評価結果項目	内　　容	評　価
①環境方針	・今回環境方針についてはＥＡ２１更新審査にてグリーン購入と有機溶剤の項目が抜けていたことから４５期より方針に文書を加えることとした。	○
②環境目的・目標	・42期基準より売上36.3%増より比較し、電力が8.4%増で達成されていなかった。電力に関してはﾃﾞﾏﾝﾄﾞ閲覧ｻｰﾋﾞｽにて最も高い時間帯を業務に支障ない程度で削減を行う。ｺﾋﾟｰ使用頻度に関しては-17.6%で達成されているが、ISO9001の文書、記録や図面等により使用が増えた為、これ以上削減をするのは難しいので45期よりﾃｰﾏを変える事とした。ｽｸﾗｯﾌﾟについては42期基準とすると50.4%増で未達成である。生産が増加し、歩留りが悪い製品があり、ｽｸﾗｯﾌﾟ量が増加してしまった。その為、45期より材料ワークの検討を行う事とした。異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟは品質管理（ISO9001）取得により、システムを有効活用し削減に取組んだ結果としては達成している。今後はいかにｽｸﾗｯﾌﾟ排出量をいかに抑えるかによって資源の無駄を減らせるか改善していただきたい。	○
③環境活動計画	・計画については各グループ共しっかり立てているので今回は取り上げない。	○
④ＥＭＳ	・来期(45期)はISO9001の運用を上手く利用し、環境、ＣＭＳ共にリンクさせていただきたい。	○
総括者の指示	・４５期（２０１２年８月１日）は、電力削減に力をいれ、又、ISO9001を上手く運用し、異常発生品の削減とお客様満足度を向上させ、更なる工場営業に力を入れていきたいと思います。 毎日の活動にも力を入れ綺麗な工場を目指し取組を行っていきたいと思います。	○

改訂指示	改訂内容	・４５期（２０１２年８月１日）からの改訂は、ＥＡ２１更新審査の指摘事項による環境方針と帳票、マニュアル、手順書等が有ります。改訂が終わり次第各部門の差替えを行います。	
	環境管理委員会	審 議 日	２０１２年　７月１３日（金）
		審議内容	電力、上水、ｺﾋﾟｰ使用頻度未達成とISO9001の活用について。他
		審議結果	全員一致で２０１２年８月１日より実施する事に決定。

注１：評価は良＝○、改善を要するが結果は良△、再検討×